

～先輩職員Interview～

※掲載者の所属(名)、職名は
令和5年度時点のものです。

現在の仕事内容を教えてください。

鳥取市内を流れる準用河川や普通河川の管理、豪雨時の治水施設の運営、急傾斜地崩壊対策に関する業務に携わっています。主な業務内容として、内水氾濫を防ぐための排水機場や樋門の管理運営業務、河川改修工事や小規模急傾斜地崩壊対策工事の発注・監督業務などを行っています。

鳥取市職員を志望した理由は？

市内の大学に通っており、鳥取市のことが身近な存在であったことから、鳥取市のために貢献したいと思い鳥取市役所を志望しました。公務員になるには、国や県、市町村などの選択肢がありますが、私は住民との距離が近く、顔の見える関係で仕事ができることに魅力を感じ、市役所を選びました。

また、鳥取市は、中心市街地から中山間地域まで様々な地域があり、抱えている課題も地域によって異なることから、課題解決に向けていろいろなことに挑戦できそうな所も魅力に感じました。

現在の仕事のやりがいや魅力は？

令和5年は、7月豪雨や台風7号とたて続けに河川が増水しましたが、地域の方々と協力しながら樋門操作を行ったかいもあり、浸水被害が軽減出来たように思います。また、天候回復後は河川のパトロールを行い、被災河川について復旧計画を作成して、自ら国へ説明を行いました。現在は、その設計書の作成や復旧工事の発注等を任されています。

このように、災害を防ぐための対策を講じたり被災した河川の復旧に携わったりしていると、時に住民の方に感謝されることがあり、インフラを守っている手ごたえややりがいを感じます。

鳥取市職員をめざす方へメッセージをお願いします。

土木技師の仕事内容は幅広く、身に付くまでは大変ですが、地域の方と顔の見える関係で仕事を行うことができ、やりがいを実感できる仕事です。仕事では分からないことも多々ありますが、日々、職場の先輩方に助けをいただきながら楽しく仕事を行うことができます。

鳥取市役所の土木職は、令和5年度採用試験から、1次試験が専門試験のみとなり、専門性を発揮しやすい試験形式となりました。是非、挑戦してみてください。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。



土木

都市環境課

田中 哲哉 技師
(令和5年度採用)



～子育て支援制度利用者の声～

※掲載者の所属(名)、職名は
令和5年度時点のものです。



市民税課

岩崎 彩乃 主事
(平成27年度採用)

育児休業、育児部分休業、子の看護休暇を利用しました

私は子どもが1歳になるまで育児休業を取得しました。休業中の日中は家事をこなしながら子育て支援センターなどを利用して私も子どもも息抜きをし、夕方以降は下の子のお世話が好きな上の子と一緒にゆっくりとした時間を過ごすことができました。我が家の場合、上の子はお父さんが大好きなので、お父さんにたくさん甘えながら下の子のお世話をしてくれました。そのおかげで赤ちゃん返りもほとんどなく、家族みんなで支え合えたと思います。

育児休業からの復帰後は、育児部分休業を利用しています。復帰後の約1年間は、毎日1時間の部分休業を利用していました。

子どもたちも成長して少しずつ手がかからなくなってきているので、早く部分休業を利用しない生活に戻りたいと思っていますが、いきなり部分休業の利用をすべて止めるのは難しいと判断し、現在では、週3日は1時間、週2日は30分の部分休業を利用しています。曜日ごとで帰宅時間を変えたり、子どもが体調を崩した時には子の看護休暇を取得したりと、家庭の状況に合わせて制度を活用することができています。また、子育て支援制度に理解のある職場環境にもとても感謝しています。

